

(一社)環境情報科学センター 2026年度

社会人会員向け 交流・研究会

**「持続可能な社会の達成に向けて – Beyond SDGsと
Well-being・地域循環共生圏の展開」 (参加者募集)
(2026.6.3)**

□**開催趣旨**：国連持続可能な開発サミット（2015年）において国際的に合意された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、国連では毎年「ハイレベル政治フォーラム」（HLPF）が進捗評価を行っており、また、各国は自発的国家レビュー（VNR）の公表等により進展を図っています。我が国も政府がSDGs推進本部を設置し、SDGs実施指針を定めて対応を進めています。第6次環境基本計画（2024年）でもウェルビーイング/高い生活の質の実現を最上位の目的とし、ローカルSDGsの達成と不可分な「地域循環共生圏」の創造等を推進しています。

SDGsの達成のためには各ステークホルダーの参加が不可欠であり、中でも企業は、目標9（インフラ・産業イノベーション）、目標13（気候変動）等の達成において重要な役割を果たしています。

しかしながら、ウクライナ紛争の影響等による取組の遅れもあり、国連の報告書（2025年）では、ターゲットの35%のみが進捗しており貧困の根絶等18%はむしろ後退していると指摘され、また、日本についてもNGOによる評価では気候変動対策など6つのゴールに深刻な課題があるとされています。このため、2030年に向けて優先分野で緊急に取組むべきと指摘されていますが、さらに、真に豊かな未来をめざして、より長期的な視点で2030年以降についてのSDGsの在り方も含めた検討（Beyond-SDGs）が行われています。

環境情報科学センター（CEIS）では、「「持続可能な社会の達成に向けて – Beyond SDGsとWell-being・地域循環共生圏の展開」をテーマに社会人会員等を対象として交流・研究会を開催し、SDGsについての基本的考え方、各ゴールの概要や評価、課題や取組、環境基本計画や地域循環共生圏とのシナジーの強化、企業の取組等について有識者による講義と質疑、議論を通じて、SDGsやそれ以降のBeyond-SDGsについての参加者の理解、周知を進めます。これらにより、業務での知見の活用、アカデミックキャリアやネットワークの展開を支援するとともに、CEISとして社会的な課題の解決に向けて貢献することを目指します。

□**開催概要**：

社会人会員等の関心が高い「持続可能な社会の達成に向けて – Beyond SDGsとWell-being・地域循環共生圏の展開」をテーマとして、2026年6月～10月にかけて、

以下の4回交流・研究会をWebで開催します。全4回に継続して参加していただくことを原則として、社会人を対象に参加希望者（30名）を公募します。

各回とも平日夕方の1時間半程度とし、講師による講演の後、ディスカッション、取りまとめを行います。毎回、終了後に簡単なアンケートを実施します。（なお、欠席の場合、講演等についてはビデオ配信を行う予定です。）

また、交流・研究会の結果については、参加者も協力して簡単な報告書を取りまとめ公表する予定です。

なお、全4回に積極的に参加する等条件を満たした場合には、CEISから修了証を発行します。

開催予定 （別添1 参照）

第1回（7月8日（水））：

- ・イントロダクション（研究・交流会リーダー 高橋正弘 大正大学教授）、
- ・第6次環境基本計画によるウェルビーイングの推進とSDGs（仮題）（講師 黒部一隆 環境省大臣官房総合政策課環境計画室長（併任 環境教育推進室長）（調整中）

第2回（7月31日（金））：SDGの概要、達成状況と課題、今後の展開（Beyond SDGs）について（仮題）（講師 蟹江憲史 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授（SDGsステークホルダーズ・ミーティング構成員、円卓会議構成員））

第3回（9月28日（月）（調整中））：SDGsと地域循環共生圏（仮題）（講師 高橋若菜（宇都宮大学国際学部国際学科 教授（中央環境審議会循環型社会部会 委員））

第4回（10月19日（月））（調整中）：ステークホルダーによるSDGs等持続可能なへの取組 特に産業界、企業の取組（または、企業によるSDGs等持続可能な社会への取組事例）（仮題）

（講師による講義 講師 小野田 真二 IGESサステイナビリティ統合センター副ディレクター / シニアリサーチマネージャー及び参加者からの取組紹介等）

（講演テーマは仮題、講師等については変更がある場合があります。）

□日時：

第1回 7月8日（水） 17：30～19：00

第2回 7月31日（金） 10：00～11：30 （対面可）

第3回 9月28日（月） 17：30～19：00

（または10月2日（金）（調整中））

第4回 10月19日（月） 17：30～19：00 （調整中）

調整中の日程については、決定次第参加者に通知します。

□**場 所**：Web 開催 （Webアドレスについては、参加者に対して事前に連絡
します。）

参加者の希望により、環境情報科学センターで対面で交流する機会も設
けます。

□**主 催**：一般社団法人環境情報科学センター

（企画委員会 社会人ワーキンググループ、2026年度交流・研究会

リーダー： 高橋正弘 大正大学副学長・教授、

サブリーダー： 西 麻衣子 日本大学教授、

アドバイザー： 小谷幸司 日本大学教授）

□**参加者**： 30名 社会人会員、非会員の社会人（会員を優先します。なお、学生、
正会員も応募可能です。なお、応募者多数の場合は、ご参加いただけな
いことがあります。）

□**参加費**： 会員 3,000円、非会員 6,000円 （講演会4回分を含む総額）

参加応募の後、CEISから参加確認のお知らせが届きましたら、総額を
お支払いください。

支払い方法については、CEISのSmooSyシステムを使用していただき
ますが、詳細については別途連絡を差し上げます。

なお、途中で参加中止の場合は、原則として返金はいたしませんので
ご注意ください。

□**参加方法**：2026年6月14日（日）までに以下のHPから、参加登録をお願いします。

<https://event.atlas.jp/ja/ceis/S0002>

注：支払い方法については、お申込時は参加費のお支払いはしないようお願い
します。また、事前アンケートについては、必ずご回答ください。

なお、非会員の方は、まず、Apass設定をしていただき、その後に上記の参加
登録をしてください。

6月19日（金）までに参加の可否をご連絡いたします。なお、応募者数
により、参加できないことがありますので予めご了承ください。

注：参加者数により、別途各回開催前に公募することもあります。

HPから登録ができない方は、参加申込フォーム（別添2）に記入、
添付してメールで参加登録してください。

メールによる 申込先：

環境情報科学センター企画委員会社会人交流・研究会担当

memberadmin@ceis.or.jp

メールのタイトルは、「2026年度交流・研究会参加希望」として

ください。

□**問合せ先**：一般社団法人環境情報科学センター（企画委員会 事務局 町田・荒井）

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-7

E-mail : memberadmin@ceis.or.jp

（または、machida@ceis.or.jp、arai@ceis.or.jp）

□**添付資料**：

別添1： 持続可能な社会の達成に向けて – Beyond SDG s と Well-being ・ 地域循環共生圏の展開（概要）

別添2： 2026年度申し込み様式

□**参考（一社）環境情報科学センターについて**

環境情報科学センターは、環境情報科学に関する学術活動とコンサルティングを行っている一般社団法人で、年に一度の環境情報科学研究発表大会を開催するとともに、日本語と英語での学術誌を発行している学術団体（学会）です。700名以上の多くの研究者、教員、学生が会員として活動に参加しています。